

# 新学習指導要領に向けた ご指導に関するアンケート結果まとめ 〈地歴公民版〉

全国の先生に、2022年度から高等学校で実施される新学習指導要領に関して、新課程におけるおもな課題とその解決の方向、ICT活用、大学入試など、先生方からよくご質問いただく内容を中心におうかがいしました。  
現在の状況や、2022年度以降の課題などを知る資料として、参考になれば幸いです。

2021/4/16



調査テーマ	新学習指導要領に向けたご指導に関するアンケート
調査方法	WEBまたは紙(郵送)によるご回答
調査対象	全国の国公立・私立高等学校、中等教育学校
調査時期	2021年2月16日(火)～2021年3月15日(月)
有効回収数	113件 ※地理歴史90 公民23

### 【質問内容】

#### ◆全体アンケート(教科共通)

- (1)新課程カリキュラム編成
- (2)カリキュラム編成上の工夫点
- (3)新課程での指導における課題と解決の方向性
  - ・共通テストへの対応
  - ・個別試験への対応
  - ・ICT活用への対応
- (4)新課程における指導のポイント
- (5)ICT環境の変化による自宅学習のあり方

#### ◆教科独自アンケート

各教科科目のご指導における課題と解決の方向性

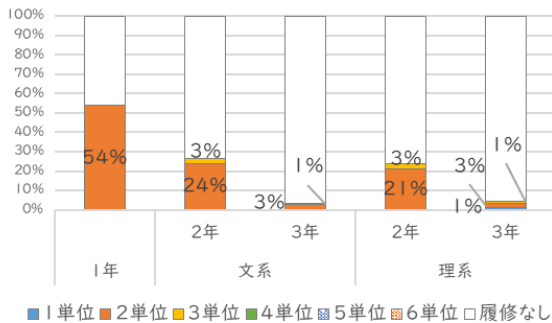
- (1)教科内容
- (2)授業内容
- (3)評価

## 地理歴史

Q.2022年度より実施される新学習指導要領におけたご指導についてお聞かせください。

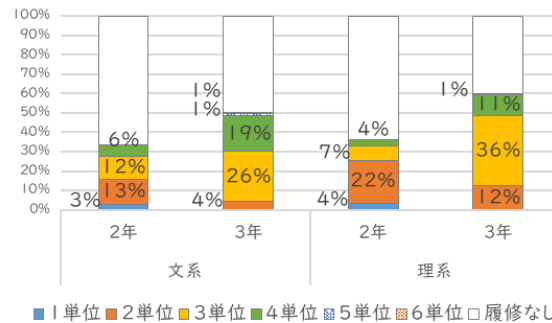
新課程のカリキュラムについて、どの学年で、どの科目を、何単位履修させようと考えているかを単位数でご記入ください。

地理総合



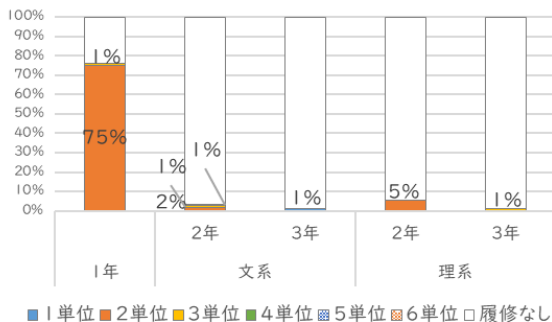
歴史総合に比べると2年次履修がやや多い

地理探究



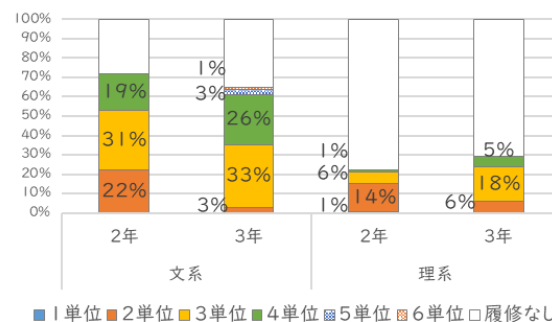
地理総合2年次履修の学校は3年次履修が多い  
文系に比べて理系の開講率がやや高い

歴史総合



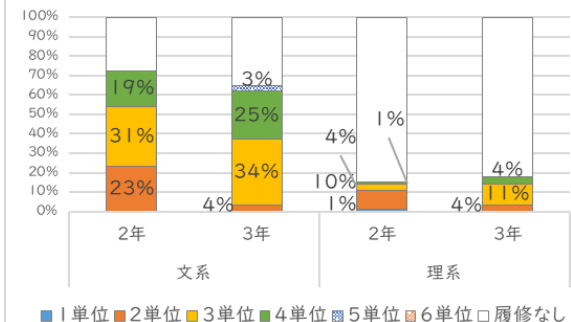
多くの回答が1年次2単位履修

日本史探究



文系の開講率が高く、2年次2~4単位、  
3年次3~4単位履修が多い

世界史探究



文系の開講率が高く、2年次2~4単位、  
3年次3~4単位履修が多い

## カリキュラムの編成でこだわられたポイント、工夫点


地理歴史(日本史)	総合→探究に対応する。
	3年次の「日本史探究」「世界史探究」については、学校設定科目を置くことにより、事実上増単。
	文系の受験科目(日本史・世界史探究)を2年で実施するために歴史総合を1年に置いたこと。
	他教科優先で設定した。
	受験指導として、高3生の受験科目の充実をはかりたい。
	本校は単位制で、1～3各年次で地歴公民科の必修科目を1科目設置。1年次で歴史総合を履修することで、2年次以上で日本史探究・世界史探究の選択が可能、2年次で公共を履修することで、3年以上に政治経済の選択が可能。
	高3政治・経済は選択科目です。日本史・世界史探究は標準単位が減っていますが、内容が大幅に削減されるとは考えにくいので、これまで通り4単位で行います。
	参政権が18歳以上からということもあり、有権者教育を重視するため、公共を高校1年で設定しました。
	文系では、探究科目を2科目とらせたい。総合科目や公共とどう組み合わせるか難しいところであった。
地理歴史(世界史)	時間数を多くせず標準単位数より大幅な単位数の増加を認めない。
	現行のカリキュラムとの変更を小さくおさえること。
	特に工夫の余地はありませんでした。公共および地理・歴史総合は低学年に履修する必要があるため、このような形になりました。
	地理総合・歴史総合を1年次履修とし、公共も同様に扱いたいと考えたが、他教科とのバランス上、2年次履修となった。
	必修科目を1年次に全て履修することで、選択科目を選ぶ際の基準を生徒自身が持ちやすくなったと思います。
	高2以上のカリキュラムは現在作成中です。
	文系における科目選択のしやすさ、単位数の確保。理系における最小単位の設定。
	まだ検討中です。2年次に地理総合を履修し、年度途中で地理探究に移行するという案も出ています。この案は地歴公民科からではなく、他教科からの提案です。
	まだ検討段階ですので、何もきまっていませんので様々な学校の状況が知りたいです。

## カリキュラムの編成でこだわられたポイント、工夫点

地理歴史(地理)	教科としては早い学年で必修修の設置を希望している。
	必修修を高1、2年で終了するようにする。
	地理総合を2学年においたこと。
	地理総合、歴史総合を必ず1年に置くこと。
	まだ検討中です。教科間の利害が対立する。
	普通科理系の授業時数の他教科とのバランス。文系の公共から倫理・政経を連続して履修する。
	高2までに歴史総合、公共の履修を最優先にした。ここには明記していないが、高3にて世界史特講・日本史特講(いずれも4単位)、日本史研究・世界史研究・地理研究(いずれも2単位)を学校設定科目として履修できるようにしている。
	公民科の扱い。まだ不明であるが文系の現行のような「倫理・政経」に対応できるかに苦慮した。
	総合科目で該当分野への興味・関心を喚起し、知識・概念・技能の土台を固め、思考・判断・表現力の基礎を養い、探究科目に生かす。
	2単位の総合を1年時に履修する。探究は文系で日本史か世界史を選択させ、理系は地理を選択させる。
	カリキュラム編成にかかわっていないので、よくわかりません。
	文・理とも2年で公共2単位 地歴探究科目を1つ3単位 3年 文系 地歴学校設定科目3単位・政経3単位から2つ 選択で倫理2単位 理系 地歴学校設定科目3単位・政経3単位から1つ 選択で倫理2単位
	全科目で受験可能。

Q. 新課程でのご指導において、ポイントとなる課題とその解決の方向性について、取り組んでいること（今後取り組みたいこと）をお教えてください。

### ア. 共通テストへの対応

<p>課題</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力低め層の引き上げをどうするか。</li> <li>・国語力や読解力を問われる問題の問題演習について。</li> <li>・新課程では、担当する教員の創意工夫によって内容が大きく異なるように思う。共通テストではどのように出題されるのかが現時点ではわからないので、どう整合性をもたせるのかが不安である。</li> <li>・問題づくり。</li> <li>・地理総合と歴史総合の扱い方。</li> <li>・共通テストの2～3カ月前までに全単元を完修。</li> </ul>
<p>対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読解力が問われる問題では、解答のポイントやコツなどを解説している。</li> <li>・今後の情報収集を怠らないようにしたい。</li> <li>・授業で毎時、問いを設定し、資料活用と思考力を育成したい。</li> <li>・定期テストに共通テスト対応の問いをできるだけもり込む。</li> <li>・史資料に触れる機会を増やしています。</li> <li>・日々の授業や定期考査でも、初見の史資料を活用して慣れておく。</li> <li>・ジグソー法などを利用して、複数資料活用の場面を増やしていきたい。ただ、コンテンツを十分用意できない。</li> <li>・「スタンダード」の設定。3年10月以降は演習中心の授業ができるよう、進度を早める。</li> <li>・問題のストック 作問するための資料集め。</li> </ul>



Q. 新課程でのご指導において、ポイントとなる課題とその解決の方向性について、取り組んでいること（今後取り組みたいこと）をお教えてください。


## イ. 個別試験への対応

<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記述力をどう磨く。か</li> <li>・当たり前だが、個々の大学の出題傾向の把握だと思う。</li> <li>・資料活用、思考力。</li> <li>・地理・日本史・世界史探究とどうつなげることができるか。</li> <li>・論述演習のやり方。</li> </ul>
<p>↓</p> <p>対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思考、表現を問う問題を多く扱う。</li> <li>・生徒の志望状況にあわせて対応していく。</li> <li>・授業で毎時、問いを設定し、資料活用と思考力を育成したい。</li> <li>・校内模試にできるだけもり込む。</li> <li>・個別指導で従来どおりの内容も続けていきます。</li> <li>・授業は共通テスト・国公立二次対応、補習で私大対応で用語を積む。</li> <li>・大学が決まってからの論述対策、共通テストの対策も含め授業でしたい。</li> </ul>




Q. 新課程でのご指導において、ポイントとなる課題とその解決の方向性について、取り組んでいること（今後取り組みたいこと）をお教えてください。

### ウ. ICT活用への対応

<p>課題</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内のWi-Fi環境の充実。</li> <li>・生徒用端末の台数の関係で、生徒が授業で必ず端末が使えるわけではない。</li> <li>・グループ活動で、メンバー同士のデータの共有。</li> <li>・教科・科目での実践事例の蓄積。特に生徒が機器を活用した事例。自分の担当教科の実践事例の情報が欲しい。</li> <li>・史料やグラフなどを生徒に見せて考えさせるなど、様々な面でICTは活用できると考えます。しかし、生徒の思考力・判断力・表現力を問うような授業については、授業時間をある程度確保しないとできないので、そうした授業への時間のかけ方と進度の確保のバランスが課題となると考えます。</li> <li>・教師のスキル</li> </ul>
<p>対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機器の普及、職員研修</li> <li>・博物館や図書館との連携を考えたい。</li> <li>・スキルアップ。研修に参加する。</li> <li>・本校でも、生徒にiPadを持たせて、双方向のICTの活用が現1年生から始まっています。それによって、教員・生徒間のやり取りがスムーズになり、時間短縮にもつながってきます。</li> <li>・授業で毎時、問いを設定し、資料活用と思考力を育成したい。</li> <li>・昨年4～5月の休校期間中に立ち上げられた「課題配信ワーキンググループ」に、全配信教材を集約化。</li> </ul>


Q. 新課程でのご指導において、ポイントとなる課題とその解決の方向性について、取り組んでいること（今後取り組みたいこと）をお教えてください。

### ア. 共通テストへの対応

<p>課題</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各大学が総合・探究をどのように受験教科に設定するのかが最大の課題です。そこが判明しないので、対応に呻吟しています。</li> <li>・「〇〇総合」が共通テストでどのような扱いになるか、によってカリキュラムの組み換えが必要になる。</li> <li>・設問の設定と、解法の説明。時間をどのように使うか。</li> <li>・主体的・対話的で深い学びの積極的な取入れ。</li> <li>・新傾向の問題に慣れさせる。</li> <li>・資料（史料）の読解力がポイントとなると考えております。</li> <li>・リード文・資料・史料の読解力向上が問題になると考えている。</li> <li>・歴史総合の日本史と世界史のバランスをどうとるか 探究学習との関連。</li> </ul>
<p>対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状は新学習指導要領の教科書研究です。しかし教科書が入手できないので、これまた何もできないでいます。</li> <li>・現在のところ特に共通テストを意識して取り組んではいない。授業に事象の羅列ではなく、体系的な学習になるようには心掛けている。</li> <li>・2年次に、世界史学習の習慣（自分なりの勉強法）と基礎の知識をしっかりと身につけさせる。</li> <li>・学習指導計画及び内容の見直し。</li> <li>・できるだけ授業時間を使って問題演習を実施する。</li> <li>・多くのデータ・図版・史料に触れる機会を増やし、試行しております。</li> <li>・資料（もしくは史料）から情報をきちんと読み取る力を育成する必要があり、資料集だけでなく、多様な資料に触れる機会を多く設けたい。そのための教材開発。</li> </ul>

Q. 新課程でのご指導において、ポイントとなる課題とその解決の方向性について、取り組んでいること（今後取り組みたいこと）をお教えてください。

## イ. 個別試験への対応

<p>課題</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新課程での総合・探究の履修内容がどこまで個別試験に反映するのか?という点です。言い換えると、私大の中には従来の出題内容からあまり変化しないところがあるのではないかという危惧を感じています。</li> <li>・「考える」癖を身に付けさせたい</li> <li>・論述試験への対応。</li> <li>・基礎・基本の徹底と資料読解の技能、そして思考力・表現力をバランス良く勉強して、どんな問題にも対応できる柔軟性を身に付けること。</li> <li>・基礎的な概念を言語化し、論述する能力が重要と考えます。また、今年の大阪大学の「麒麟」のような、柔軟な思考、発想力を求められる問題にも対応が必要です。</li> <li>・歴史事象の相関関係・因果関係を論理的に説明する能力の必要性は変わらないと考えている。</li> <li>・従来までと変わらず、各事象の相関関係・因果関係を理解する事、そして正確に表現する事に尽きると思います。</li> </ul>
<p>対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間的制約の下で、効果的な手段がまだ見えてこない。</li> <li>・論文指導、個別指導の充実。</li> <li>・国語の読解力がなによりも重要だと思います。国語の授業だけでなく、その他の教科でも文章やプレゼンテーションなどの活動を多く取り入れて、論理性や表現力を育成したい。</li> <li>・授業を形式で縛らずに、生徒の個性が活かされ、柔軟な発想が許容される空間を作りたい。</li> <li>・因果関係と相関関係を明確に把握できる力を育成する試行を企図しております。</li> <li>・授業内で定期的にグループ学習の形で記述問題に取り組ませる。</li> </ul>


Q. 新課程でのご指導において、ポイントとなる課題とその解決の方向性について、取り組んでいること（今後取り組みたいこと）をお教えてください。

## ウ. ICT活用への対応

<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内の環境整備・使用マニュアルの策定・教員のスキルの向上。</li> <li>・わかりやすく、効果的な使用方法について。</li> <li>・一人一台タブレット支給でないとう双方向のICT活用は困難で、どうしても受動的な活用になってしまう。仮にタブレットが支給されても、情報処理（アプリの起動やネット検索など）や文字入力などが面倒で授業中に無駄な作業時間が発生する。</li> <li>・各社から提供（販売）されているものが、依然として機種に依存するものが多く、Webベースに移行しきれていないこと。また、多くの学校がGoogle Workspaceを使用すると思われるが、そのプラットフォーム上で利用しやすい教材が提供されていないこと。校内の推進体制（ICT活用に消極的な教員ほど、分掌上決定権のあるポストについている）</li> <li>・生徒から学習課題が提示され、全体で取り組めるような双方向的プラットフォームの整備。</li> </ul>
<p>↓</p> <p>対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とにかく使ってみること。</li> <li>・パワーポイントの活用</li> <li>・書画カメラの活用／動画の活用</li> <li>・iPadのより有効な使い方を学び、教員全体で共有すること。</li> <li>・生徒と教職員が、デジタルデバイスを使いこなせるような支援を行う予定です。</li> <li>・研修会への参加、先進事例をご紹介頂くなど。</li> <li>・チームで共有して開発していく。</li> </ul>

Q. 新課程でのご指導において、ポイントとなる課題とその解決の方向性について、取り組んでいること(今後取り組みたいこと)をお教えてください。

## ア. 共通テストへの対応

<p>課題</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新傾向の問題に適應できるか。</li> <li>・問題文(及び資料)をいかに速く正確に読み取ることができるか。</li> <li>・大学が何の科目を選択させるのか。</li> <li>・読解力をどのように養成するか。</li> <li>・授業における題材の選択と家庭学習の題材の選択。</li> <li>・常に視点を複数持つこと。また、対象が何を示し、何を求めているのかを読解する力を養う必要があります。それに加えて異なる知識を結合させていく汎用性が求められていると思います。</li> <li>・小・中から学習の連続性をより意識する。基本的事項の定着。資料の読み取り、解釈する力を伸ばす。</li> <li>・地理総合の指導内容が不安である。必修になり共通テストに含まれるとなると、地理担当以外の先生にも応援してもらった場合の指導のすりあわせ。</li> </ul>
<p>対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内容と問題演習の紐付け。</li> <li>・考査問題で工夫。</li> <li>・紙媒体とデジタル教材の開発のハイブリッドを準備中。</li> <li>・併設中学校では国際バカロレア中等教育プログラム(MYP)を導入し、概念をもとに探究学習に取り組んでいます。知識の定着とともに、探究の中で広がり深まった知識・技能・思考・判断・表現・主体・協働・態度を養っていきたいです。</li> <li>・基礎・基本の充実とともに、探究型の学習活動の重視。</li> <li>・中学までの既習事項の定着を把握する。小テスト等で基礎的・基本的用語を定着させる。調べ学習や模試の資料読み取り問題を協議することで資料読み取りの力をつける。</li> </ul>


Q. 新課程でのご指導において、ポイントとなる課題とその解決の方向性について、取り組んでいること(今後取り組みたいこと)をお教えてください。

### イ. 個別試験への対応

<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思考力、考察力の育成。</li> <li>・大学が何の科目を選択させるのか。</li> <li>・探究の授業の中や補習で対応する。</li> <li>・思考・判断・表現力の重視。</li> <li>・事象の本質を見抜く力。</li> <li>・とくに知識・思考・表現が重要になると考えられます。</li> </ul>
<p>対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去問の出題意図、問われる能力の解説。</li> <li>・探究型活動への一層の重視。</li> <li>・できれば授業内で取り組みたいが、内容的に無理な場合は添削で対応する。</li> <li>・知識を早く習得させることと早くに見通しを立てて対策すること。</li> <li>・前述したMYPでの学びを通じて、課題を文章で表現できるようにPDCAサイクルを繰り返して、多面的な視点を常に持つことができるようにしていきます。</li> </ul>

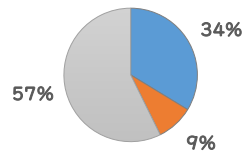
Q. 新課程でのご指導において、ポイントとなる課題とその解決の方向性について、取り組んでいること(今後取り組みたいこと)をお教えてください。

## ウ. ICT活用への対応

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の能力、教員の自己研鑽。</li> <li>・ICT機器に対する自分の技能の向上と、学校の環境整備。</li> <li>・スマホのため画面が小さい。</li> <li>・映像や写真を使用することで、視覚的に効率的に学習をしていかなければならない。</li> <li>・いつでも対応できるよう、教室内に設備を整えておく。</li> <li>・視覚的に物事を理解できる力。問題を発見できる力。WEB GISをフルに活用する。</li> <li>・地形図を利用した指導での利用。(指導側では、iPad+スーパー地形+Apple Pencil)</li> <li>生徒は一人一台PCのWindowsで生徒が容易に使用できるソフトが少ない。</li> <li>・地理総合での防災教育はGISの使用が不可欠と思いますが、本校ではデバイスが各自異なるため(BYOD)その対応が可能か否か、が最も課題となります。</li> <li>・探究的な授業展開にするための活用方法。</li> </ul>
 対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修や実践での活用。</li> <li>・小テストや対策の問題の配信。</li> <li>・教室を固定して、施設設備のセッティングに時間を要しないように工夫する。</li> <li>・WEB GISの授業への導入。一人一台のタブレットの導入。</li> <li>・環境整備と教員の技術向上かと思います。</li> <li>・タブレットの使い方の研修。</li> </ul>

Q. ICT環境の変化により、自宅学習のあり方は、従来と変える必要があるでしょうか。

### 地理歴史



■ 変える必要がある ■ 変える必要がない ■ まだわからない

- ・「まだ分からない(約6割)」を除くと、約8割が「変える必要がある」と回答。
- ・予習中心(反転型)の自宅学習を想定している意見があった。
- ・一方で、従来通りの復習中心の家庭学習の効果を認めており、変える必要がないという回答も一定数見られた。

#### 【変える必要がある】

- ・家庭学習の方法を紙媒体からデジタルへ移行。
- ・基礎知識の習得をオンライン上で行う。
- ・反転学習とまで行かなくとも、世界地図上の、地名・国名・都市名や国の概要は授業前に家庭学習したうえで授業に臨むことの出来るツールや動画づくり。
- ・授業で思考力・判断力・表現力を育む内容にするために、反転学習を取り入れて、自学自習で対応する部分を増やしたいから。
- ・自宅では効率的に復習をしっかりとさせていきたい。
- ・ICTを用いて、授業では教えすぎず、ICTを使って情報を自ら収集、選択する力が必要となるため。
- ・生徒の取り組みに対するフィードバックが迅速に出来ることを生かし、今まで以上に教室での授業と有機的に結びついた自宅学習課題を課せるようにしたい。
- ・ICTをうまく活用することで、一律の課題を一律に取り組ませるのではなく、個人のレベルにあった課題を定着度合いにあわせて取り組むこともできる(今までは教員の手がかかりすぎた)。

#### 【変える必要がない】

- ・筆記具を用いた学習活動は引き続き必要。
- ・学習のあり方はこれからも変わることはないため。



歴史総合/地理総合: **教科内容** についての課題①

授業例が少なくベースになる教材探しがむずかしい。

歴史総合を世界史・日本史担当教員がどのように連携して指導するか。

歴史総合で日本史/世界史の枠が取り払われるのみならず、さらに地理総合の開始により従来の「地誌」分野の歴史総合へのクロスオーバーも検討されるなど、学際的な学びが可能となる期待感はある。課題としてはそれをいかに各探究に繋げていくか。

カリキュラムをどう立てていくのか不明。

教科書が出ていないこと。

内容が未だ不明確な点が不安。

・歴史総合は、中学社会の既習事項の確認が重要。

・地理総合は、全体的に地理を専門とする教員が多くないので、授業を担当する際に不安がある。

歴史総合: 世界史的な要素が強くなっていくため、短時間で基礎知識を習得しておかなければならない。

地理総合: 地誌が少ない分、ICTを活用してどのように授業を展開していくか。

地理総合を担当できる地理専門の教員が少なすぎる。GISをどのように取り入れるか。教科書等もまだなく詳細がわからない。

受験にも対応した指導、探究科目との関係性。

地理分野の専門教員が少ないため、どのような内容になるのか不安。

災害や環境あるいはSDGsのことなどが重視されると思いますが、検討中です。

教科書が出てきていないので、現段階ではなんとも言えません。

歴史総合におけるテーマ史の扱い方や地理総合におけるGISの活用。

調査の指導方法。

GISを活用するための技能やSDGsを前提とした授業の方法。

地理総合 ICTを活用してどの程度まで進捗と深度を考えていくべきか考えています。高3ということもあり、進捗より深度を重視していく形になりそうです。

理系学科の歴史総合/地理総合の必修クリアの課題。

1年入学時に地理総合・歴史総合の選択

2年: 地歴探究への継続履修

3年: 1年で選択しなかった地理総合/歴史総合の選択(共通テストに使わない科目)

## 歴史総合/地理総合:教科内容についての課題②

主体的・対話的で深い学びを全ての教員が取り組むことができるか。従来型の学習形態にこだわる教員も散見され、心配である。
GISなどある程度機器を使用した実習が必要なので、個別にパソコンを準備しなければならない。
専門の教員でない教員が担当しなくてはならないこと。対策は模索中（共通プリントなどか?）。
いかにして学習指導要領の趣旨を実現するか。名ばかりになり、探究科目の補充扱いになることを危惧している。
GIS 地図太郎や地理院地図の活用。
2単位では終わらない。2年生で学校独自科目として2単位設定。
地理総合の教科内容について詳細な情報が欲しい（地理を専門としない教員が担当せざるを得ないと考えられるため）。
クラス間の指導法をそろえるための工夫、教員の専門によって差が大きくなる。
歴史総合を世界史A、日本史Aのように扱えるか。
全般的に
(1)例をとれば歴史総合と日本史探究、世界史探究の違いがわからない。違いがあったとしても、どこで線引きをして区別をすべきなのかもわからない。
(2)テーマ設定も大きな課題である。生徒の興味を引出さないと探究とはいえない。生徒が興味をもちながらも具体化して学習できないものをテーマとしたいが難しい。
(3)教員だけで取組めないものは専門家や地域住民の方にも協力していただきたいがその理解が得られるか不安である。
授業で毎時、問いを設定し、資料活用と思考力を育成したい。
めざす生徒像を見据えた単元構想を行う。扱う内容の精選が必要である。
今までの学習内容で実施するのか、探究をメインに据えるのかを検討中。
理系生徒の履修のあり方。
地理が必修になる中で、地理を教えることのできる教員が少ないので、今後、その教員の確保が必要。
日本史と世界史のバランス 入試での出題形式。
教科書がどのようなものになるのかまだわからないので困っている。
どのように学ぶか。扱う内容をどのように共通化するか。地理の教員がいない。
教科書が出てきていないので内容についてはわからない。人員として、地理の指導者の不足。

### 歴史総合/地理総合:授業内容についての課題

授業例が少ない。ベースになる教材探しがむずかしい
歴史総合で、どのように世界史・日本史の視点を総合して理解させていくか。
地歴科の各科目において、膨大な単元や教授内容はそのまま、その中で「主体的な学び」を実現することの困難さ。→一方で、基礎基本となる教授内容は全て生徒の「対話学習」の中で自主的に調べさせれば良いのではという見解も有力になりつつある。
教科書もないのでどんな内容で授業していったらよいのか不安。
内容が薄いのに深い思考が生まれるのかどうか？
歴史総合:世界史的な要素が強くなっていくため、ICTを駆使しながら、いかに世界とのつながりを感じさせるか。
地理総合:ICTを活用してどのように授業を展開していくか。
興味を持たせる。
教科書がまだないので、考えきれていない。
電子黒板やタブレットの効果的な使い方。
教科書が出てきていないので、現段階ではなんとも言えません。
地理総合におけるICT環境の整備。
調査の指導方法。
地理総合 本来であればフィールドワークを実施して探究させたいが、高3ではなかなか難しいです。
内容の変更点や削除や追加が明確にわかるようにしていただきたい。
身に付けさせたい力をつけさせるためには、指導要領に記載されていること以外の地理的知識が必要。
主体的な学びをするためのポイントとなる事象をどこにするのかの判断。
共通テスト等の大学入試での「地理総合」「地理探究」の科目内容の扱い。
受験科目としての内容が不明で、計画等は困難。
全般的に
(1)の概念で授業を進めていくのは、生徒の主体性を養うという意味では素晴らしいと思うが、実際に入試にはどのように出題されるのか学校と入試の乖離が大きいのは生徒教員にとっても支障が出る。
(2)フィールドワーク的なものと座学をどの程度組みあわせていけばよいのか、それはシラバスにも大きく影響するだろう。
思考力を伸ばす取り組みを適切な時間内ですすめていくこと。

歴史総合/地理総合: **評価** についての課題

授業の中で、考査でどのような評価をするか観点が難しい。

主体的・対話的で深い学びの実践とその評価をどうするか。

神奈川県では既に10年以上前から観点別評価を導入しているので、その実績に基づき新カリキュラムの評価を実施すれば特に問題はないと考える（ただし、観点の内容を必要に応じて変更する可能性はある）。

知識中心を問う以外にレポート作成、発表などを行い評価していく？

3観点の評価のためには自動採点システムを拡充する必要がある。

今までの暗記だけのテストではダメなのでしょうか…どのように評価していくかは未定です。

3観点で評価するにあたっての評価規準の作成。現段階で全く検討されていない。

思考・判断・表現力をどのように評価するのか。ルーブリック評価の導入。

課題やレポートを評価に取り入れる方法の検討が必要。

主体的な学びの評価基準。

観点別による評価がうまく機能するか。

テスト以外の需要をどう加味していくのか。平常点扱いになってしまいかねない。

全体的にそもそも評価がなじむものかどうか、点数化したり、試験をするといっても、今までどおりのやり方のみでは適正な評価はできないと思う。

まだ、あまり検討していない→どのように定期テストにもり込むか？筆記試験だけで、十分評価を行うことができるのか？

現段階では明確な課題すら見えてきておりません。

多面的・多角的な評価が必要であり、定期考査だけでなく、ポートフォリオ評価やパフォーマンス評価など、さまざまな評価材料を用意して行く必要がある。

ルーブリック的に評価項目が設定されていたとしても、どのような学習活動をもって評価すべきなのか具体的な方法が知りたい。

テストの点数ではかる力以外の学力の測定方法について。

日本史探究/世界史探究/地理探究:**教科内容**についての課題。

3単位科目であるが、内容は従来と変わらないのではないか。

課題としては総合科目をいかに各探究に繋げていくか。

原始・古代から授業を始めなければならないこと。

受験対策授業の側面が大きくなってしまっているのではないか。

標準単位が減っているので、従来のB科目から何が削減されているか。

日本史など、総合科目と被らないよう、効率よく展開すること。

内容がほとんど変わらないのに必単位が1単位減になったこと。教えきれるか。

災害や環境あるいはSDGsのことなどが重視されると思いますが、検討中です。

教科書が出てきていないので、現段階ではなんとも言えません。

共通テストや大学入試との関係性。

ICTを活用した調べ学習を用いたアクティブラーニングの進め方。

日本史・世界史に関しては探究のみならず特講や研究も開講されるので大学入試対応は可能かと思いますが、地理探究に関しては、高3で実施ということもあり、理系は選択しづらく、また、国立2次試験に勉学が間に合わない可能性もあるため、選択者がいなくなる可能性が高いと思います。

世界史選択生の減少。280名で10名程度しかいない。

主体的・対話的で深い学びを全ての教員が取り組むことができるのか。従来型の学習形態にこだわる教員も散見され、心配である。

総合との内容の違いをどのように扱っていくか。

受験科目としての性格がつきまとうことで、学習指導要領の趣旨が実現できるか不安。

単位数が少なくなるため、知識のインプット時間が短くなる。探究的学びとの両立。

4単位では終わらない。2年生で学校独自科目として2単位設定。

教科書がないので、何とも言えません。

日本史探究/世界史探究/地理探究:**授業内容**についての課題。

授業例が少ない、ペース配分が不明。
近現代史の内容について、歴史総合と日本史探究・世界史探究の関連はどうか。
地歴科の各科目において、膨大な単元や教授内容はそのまま、その中で「主体的な学び」を実現することの困難さ。→一方で、基礎基本となる教授内容は全て生徒の「対話学習」の中で自主的に調べさせれば良いのではという見解も有力になりつつある。
教科書もないのでどんな内容で授業していったらよいか不安。
史資料の読み込みなどにどのくらいの時間をあてるか。
電子黒板やタブレットの効果的な使い方。
調査の指導方法。
探究科目と学校設定科目の違いをどうするのか未定です。大学入試問題に大きな変化がないのであれば、今までとあまり変更せずに行うのではないかと思います。
主体的な学びをするためのポイントとなる事象をどこにするのかの判断。
全般的に
(1)の概念で授業を進めていくのは、生徒の主体性を養うという意味では素晴らしいと思うが、実際に入試にはどのように出題されるのか学校と入試の乖離が大きいのは生徒教員にとっても支障が出る。
(2)フィールドワーク的なものと座学をどの程度組みあわせていけばよいか、それはシラバスにも大きく影響するだろう。
思考力を伸ばす取り組みを適切な時間内ですすめていくこと。
資料の活用をこれまで以上に行う。歴史の見方・考え方を身につけることを意識する。
これから検討を重ねる予定です。現段階では示すことができません。
探究型の授業を実施するにあたって、授業時間の確保が課題です。
探究的な学びとは何かを教員が学び、教材開発をする必要がある
探究的な活動の取り組みノウハウ。
教科書がなく具体的な内容が不明なため、検討すらできていない。

日本史探究/世界史探究/地理探究:**評価**についての課題。

(教科の課題)まだわかりません。(課題検討)特にありません。

主体的・対話的で深い学びの実践とその評価をどうするか。

神奈川県では既に10年以上前から観点別評価を導入しているので、その実績に基づき新カリキュラムの評価を実施すれば特に問題はないと考える(ただし、観点の内容を必要に応じて変更する可能性はある)。

知識中心を問う以外にレポート作成、発表などを行い評価していく?

今までの暗記だけのテストではダメなのでしょうが…どのように評価していくかは未定です。

三観点での学習評価の方法を検討しなければなりません、現段階では未検討です。

観点別の煩雑さ。

思考・判断・表現力をどのように評価するのか。ルーブリック評価の導入。

主体的な学びの評価基準。

観占別による評価がうまく機能するか。

全体的にそもそも評価がなじむものかどうか、点数化したり、試験をしてみるといっても、今までどおりのやり方のみでは適正な評価はできないと思う。

ルーブリック評価などを導入することがあるかもしれない。

まだ、あまり検討していない→どのように定期テストにもり込むか?筆記試験だけで、充分評価を行うことができるのか?

受験に向けた対策が必要なため、知識を詰め込む形の授業が展開されがちであるが、思考力・判断力・表現力を向上させるための時間を確保し、きちんと評価していくことが必要。

ルーブリック的に評価項目が設定されていたとしても、どのような学習活動をもって評価すべきなのか具体的な方法が知りたい。

大きな章立ては予測できても、具体的な内容が不明であるため、検討すらできていない。

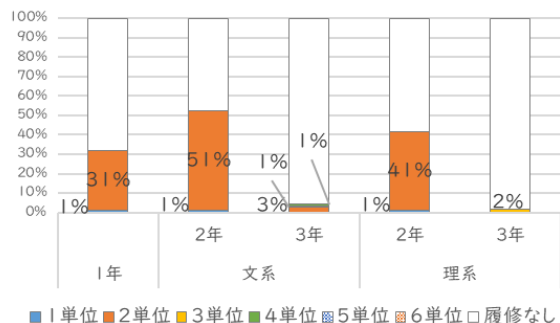
公民



Q. 2022年度より実施される新学習指導要領におけたご指導についてお聞かせください。

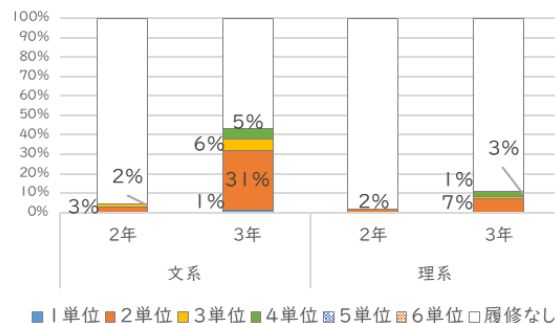
新課程のカリキュラムについて、どの学年で、どの科目を、何単位履修させようと考えているかを単位数でご記入ください。

公共



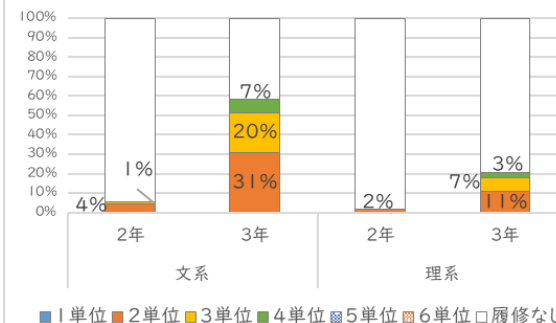
歴史総合・地理総合との兼ね合いで、2年次履修の回答数が1年次より多い。単位数はほとんどが2単位。

倫理



公共が2年次履修をすることもあり、3年次2単位履修が多い。文系での開講が中心となっている。

政治・経済



公共が2年次履修をすることもあり、3年次2単位履修が多い。文系での開講が中心となっている。


### カリキュラムの編成でこだわられたポイント、工夫点

大阪大学経済学部が「公共・政経」を受験科目として要求してくるであろうと考えられること。現在のカリキュラムから大きく変更しなくてよいこと。

3年生の地歴科目は学校設定科目も検討中です。


Q. 新課程でのご指導において、ポイントとなる課題とその解決の方向性について、取り組んでいること(今後取り組みたいこと)をお教えてください。

### ア. 共通テストへの対応


<p>課題</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学が公民分野の採用科目をどう設定するか。</li> <li>・資料問題への対応、資料の読み取り。</li> <li>・読解力の育成。</li> <li>・「公共」がどう試験に出されるか。50点になるのか。</li> <li>・問題演習とその結果の分析ができる、もしくは効率化できるツールの選定。</li> <li>・写真、グラフ図表、データの処理。</li> <li>・「政経」が深い知識を要求してくる部分。</li> <li>・教科書や資料集に出ている知識を使ってはいるが、そのまま出ているわけではない問題に対する「解答力」を、どのようにしてつけていくか。</li> </ul>
<p>対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思考力をはたらかせるための教材作成。</li> <li>・図表問題で注意させるべき点を指示すること、一問一答程度の用語を的確に身につけさせること。</li> <li>・図書館で本を借りて新出の資料を提示するようにしている。</li> <li>・今年度第1日程、第2日程の解説動画を作っている。</li> <li>・読解力、論理構造のスピード把握。</li> <li>・知識のインプットを課題として、小テストを実施、共通テスト的な問題演習を実際にやるといことの繰り返ししかないかと思う。</li> </ul>

Q. 新課程でのご指導において、ポイントとなる課題とその解決の方向性について、取り組んでいること(今後取り組みたいこと)をお教えてください。

### イ. 個別試験への対応

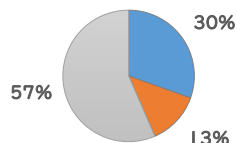
課題 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフ図表読み取り、データ処理や計算設問。</li> <li>・これまでの文化・歴史もおさえながらの問題解決。</li> <li>・本校では私立や国公立二次試験で公民を使う生徒はほぼいないため、面接や小論文対策を行っている。</li> <li>・また、個別試験がどのような内容になるか、現段階では分かっていないので、ポイントもわかりません。</li> </ul>
対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統計資料の読み取りや公文書を読んだ上で政策提案をさせる問題が多いため、その対策。</li> <li>・他科目を含めて、上記のものを扱った問題演習や課題を多くしている。</li> </ul>

### ウ. ICT活用への対応

課題 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材不足</li> <li>・教室のネット環境</li> </ul>
対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル教科書導入</li> <li>・無線LANの増設工事</li> <li>・教室プロジェクターに図表を投影し、チョークで注意する点を指示する。今後はデジタル教材等も活用し、一問一答の用語を身につけさせたい。</li> </ul>

Q. ICT環境の変化により、自宅学習のあり方は、従来と変える必要があるでしょうか。

公民



■ 変える必要がある ■ 変える必要がない ■ まだわからない

- ・「まだ分からない(約6割)」を除くと、約7割が「変える必要がある」と回答。
- ・内容的な変更に加え、「変更しないとうまくいかない」という視点もいくつか見られた。
- ・また、従来通りの家庭学習スタイルの効果を認めており、変える必要がないという回答も一定数見られた。

#### 【変える必要がある】

- ・スマホを利用した予習や調べものをさせたい。
- ・課題(レポート等)の提出をICTを使って行くと、便利だが、コピーなどをチェックするのが難しそうである。
- ・知識・理解の定着について、ICT等を活用した自宅学習のみで補うことができないところについて、明確なオリエンテーションと「手で書く」課題や授業内での演習が必要となる。
- ・ICTの活用により、問題演習などの個人の最適化が進むと考えている。
- ・「政経」「公民」は受験に向けて時間的余裕がないため、その指導を急がなければならない点は新課程でも同様であるため。
- ・課題提出の方法を変える必要があると思う。これまでやってきた、課題ノート of 提出チェックなどは手間がかかりすぎたため、ICT環境を活用してオンライン課題の提出で代替したい。

#### 【変える必要がない】

- ・ICTはあくまでも手段であって、生徒がどのような能力を身につけるかは普遍的なものがあると感じているため。
- ・自宅で基本的なこと自学する姿勢・意識の構築が、今まで以上に重要だから。
- ・本校の生徒でICTを利用して家庭学習できるのは2.3人程度のため。それ以外は利用しないか、遊ぶ。

公共: **教科内容** についての課題

大学入試での在り方や教科書によるので、早く完成版が見たい。とにかく、入試での扱われ方によって違って来るし、新分野への対応を急ぎたい。

教科書がどのようになるかがまだ不明。

本質的な学びの話と現実の大学入試対策とのギャップ。

「公共の扉」の内容とその扱いについて、各課題に対する切り口と生徒の知識・理解を組み合わせることにやや困難を感じる。基礎・基本の知識・理解がなければ、検証や考察にたどり着けない。共通テスト対策も含め、現時点で予習用の動画を作成・配信している。

自分の情報収集が進んでいないこともあるが、現代社会からどのような変化をしていくかが未だ不透明であること。

範囲が広範で、標準単位数では終わらない。授業時間数が足りない。

教科書の内容がないよう…で、動きようがない。

4月に教科書を見てみないことには判断がつかない。

限られた時間の中で外部の講座を活用しながら「知識の活用」や「探究」を進めていく必要があると考えている。

公共が求めていることは2単位では達成が困難なので、総合やホームルームなどと連携するために、他教科や校長が本当の意味で理解してもらわなければならない。

現代社会とどの程度違うのか。

### 公共:授業内容についての課題。

(教科の課題)まだわかりません。(課題検討)特にありません。
生徒の思考力や表現力、それを発表するとなると個人だけでなく協働も必要になると思われる。自学と授業等の配分を考えた上で精査する必要がある。
教員の負担。教師の力量により全て左右される。
感染症拡大予防と両立した話し合いや探究的学習に取り組むことができるか。また「最適解」を求めた場合に社会的状況に大きく左右された「一方解」になりはしないか。多様な価値観を生徒の探究的学習の材料として提示できるよう、これまで以上に情報収集のアンテナを広げている。
現代社会よりも対話的な活動を行う時間は増えていくと考えられるが、講義とその他の活動がどのくらいのバランスになるか不透明。
共通テストに向けて、資料をどのくらい扱うか(量、質ともに)。
時事問題の精選。
主権者教育、租税教育、消費者教育、金融教育、労働教育、環境教育、法教育などを外部機関や他教科を活用しながら進められたらよいと思う。
探究活動をどのようにして実施していくか。

### 公共:評価についての課題。

(教科の課題)まだわかりません。(課題検討)特にありません。
今のところは課題レポートを微増する方向である。
変わらない。
今後検討。
客観的な評価がしづらい(基準・規準)。
すでにルーブリック評価と観点別評価について、単元を限定して試験的に行っている。シラバス全体で2年後に行うことができるよう検証・検討中である。
定期テストの中で、主体的で深い学びができているかどうかをいかにして測定するかが課題。
いわゆるペーパーテストではなく、レポートやプレゼンを評価に加えたいと考えている。

倫理/政治・経済: **教科内容** についての課題。

(教科の課題) まだわかりません。(課題検討) 特にありません。
----------------------------------

教科書外の問題にどこまで手を広げるべきか。
-----------------------

内容としては大きな課題はない。
-----------------

範囲が広範で、標準単位数では終わらない。授業時間数が足りない。
---------------------------------

教科書の内容がないよう…で、動きようがない
-----------------------

まだわかりません。
-----------

倫理/政治・経済: **授業内容** についての課題。

(教科の課題) まだわかりません。(課題検討) 特にありません。
----------------------------------

政経の時事問題の授業へのとり入れ方について。
------------------------

普段もやっていたことを少し時間をかける程度。
------------------------

上記と同様、より深い知識・理解をもった主体的な探究的学習を進めるための授業方法について、やや困難を感じている。また、共通テストを含めて大学入試がどのような形態になるかどうかで、授業内容の精選や方法も今後編み出さなければならない。
--

共通テストに向けて、資料をどのくらい扱うか(量、質ともに)。
--------------------------------

資料文や図表の読解力。
-------------

まだわかりません。
-----------

倫理/政治・経済: **評価** についての課題。

(教科の課題) まだわかりません。(課題検討) 特にありません。
----------------------------------

単純には観点別に分けて評価しづらい問題もある。
-------------------------

変わらない。
--------

今のところ、変えないつもりです。
------------------



本社：〒700-0807 岡山市北区南方3-7-17

本資料の内容を、無断転載することを禁止します。  
各種コンテンツに転載する場合は事前に弊社までご連絡ください。  
本資料に関するお問い合わせや、  
教材のご注文・見本請求などは、下記窓口までお願いいたします。

**ラーンズ お客様センター 0120-548155 通話料無料**

受付時間/月～金 9:00～17:00 (祝日、年末・年始を除く)